

2025年日本国際博覧会（EXPO2025 大阪・関西万博《4/13～10/13》）において、日本全国から地方創生SDGsに取り組む地方自治体が一堂に会する展示イベント「地方創生SDGsフェス」が開催されます。

本イベントは人気ゲームコンテンツ「桃太郎電鉄」の世界を模した来場者参加型のイベントで、地方自治体による地方創生SDGsの取り組みを、万博の場で国内外に発信することにより、地域におけるSDGsの達成や地域課題の解決、持続可能な社会の形成を促進する催しです。

このたび、本市を中心とした大分県側9市町、愛媛県側9市町で組織する「えひめ・おおいた交流事業実行委員会」が、全国51自治体（38ブース）の一つとして出展することになりました。



■えひめ・おおいた交流事業実行委員会

豊予海峡を挟んだ愛媛県側9自治体、大分県側9自治体の自治体職員と、両県の青年会議所、大学等学識経験者、観光・交通事業者等で構成。圏域内の交流を促進し、圏域の魅力を発信する事業を実施することにより、将来にわたり活力ある圏域経済の形成を目指し、交流事業を実施している。

■地方創生SDGsフェスの概要

日 程：5月28日（水曜日）～ 6月1日（日曜日）

場 所：2025年日本国際博覧会 会場内
EXPOメッセ「WASSE（ワッセ）」

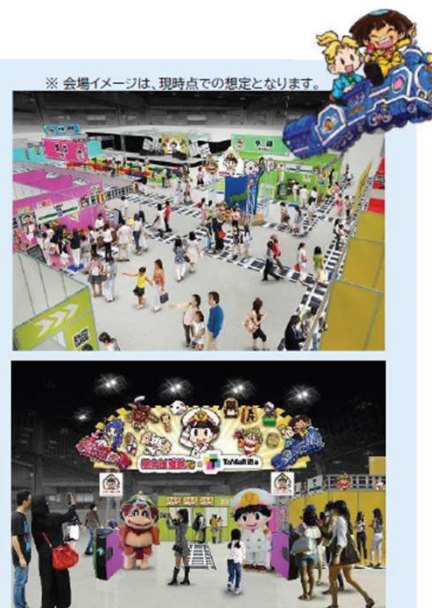
主 催：内閣府 地方創生推進事務局

内 容：地方自治体による先導的な地方創生SDGsの取組を発信し、エンターテインメント要素を交え、各自治体が誇る特色を体験・体感できるブースを展開します。

会場イメージ



「桃鉄」の世界観に触れながら、全国の取り組みを知る！
・エントランスには、「桃鉄」コンテンツをふんだんに盛り込み、期待感が高まる造作・演出を実施し、話題性・拡散を狙う！
・「桃鉄」のゲーム性との掛け合わせにより、ブース回遊性を高め、楽しみながら自治体の展示ブースに誘引！
・ブースでは、地方創生SDGsの取り組みを体験・体感！



※ 会場イメージは、現時点での想定となります。

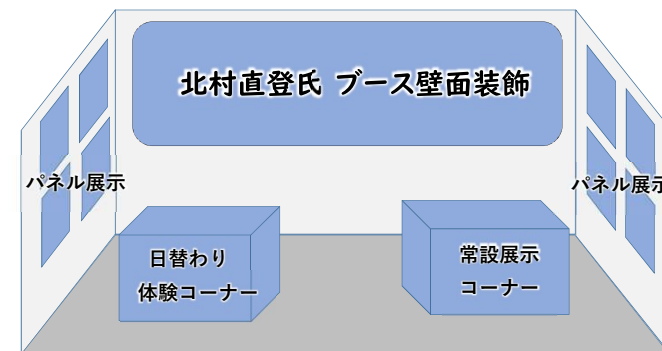
■ブース出展概要

えひめ・おおいた交流事業によるSDGs達成に向けた取組や地域課題の解決に向けた自治体独自の取組を展示するとともに、特色ある「来場者体感型」の体験ブースを設置します。

また、ブース壁面には、大分市魅力発信アンバサダーである画家「北村 直登」氏に依頼し、豊予海峡を挟んだ地域間交流の世界観を表現します。



【出展ブース レイアウトイメージ】



■常設展示コーナー

えひめ・おおいた交流事業実行委員会が行う圏域全体を活性化させる各種取組やSDGs達成に向けた取組、地域住民や地元高校生の協力による地域課題の解決に向けた取組について、パネルや模型などを交えた展示ブースを設置します。

えひめ・おおいた交流事業 実行委員会

「小学生相互交流事業」や「郷土料理の学校給食体験事業」「地域おこし協力隊交流事業」「ビーチクリーン事業」など、多様な主体による活力ある地域づくりの取組をパネルに展示し、来場者にPRします。



愛媛と大分にある様々な観光資源を活用した缶バッジ制作体験を実施するとともに、観光PR動画の放映や、愛媛大分満喫周遊スタンプラリー事業の周知により、圏域全体の交流人口の拡大につなげます。



大分県大分市

地域住民等が購入した「木質ブロック(市有林の間伐材等をリサイクルしたもの)」を、市のメインストリートの舗装整備に活用する取組を展示し、持続可能な「市民参加型のまちづくり」をPRします。



愛南町・南宇和高等学校

地域住民と万博参加国が、継続的な国際交流を行う万博国際交流プログラム。相手国カナダの特産品と愛南町の特産品である養殖真鯛の「未利用部位」を活用し、地元高校生が開発した商品を展示します。



■日替わり体験コーナー

地域に根付く伝統的な文化や技法、地域課題の解決に向けた地域おこし協力隊や高校生の活動など、地域独自の持続可能なまちづくりの取組について、日ごとに内容が変わる「来場者体感型」のブースを設置します。

5/28(水)～29(木)

大分県別府市

大分県唯一の国指定伝統的工芸品である別府竹細工。伝統工芸士による制作実演や竹鈴作りのワークショップを行うとともに、多言語対応が可能な別府観光案内所スタッフによる誘客プロモーションを実施します。



5/30(金)

宇和島東高等学校

愛媛県宇和島市と高知県四万十町を結び、住民の足として活躍しているローカル線「予土線」。路線存続のため、沿線地域を高校生の力で盛り上げようとする活動内容について、生徒自身が万博会場でPRします。



5/31(土)～6/1(日)

愛媛県伊方町

縦糸に丈夫な糸を使い横糸に細かく裂いた布を用いて織っていく「裂織り（さきおり）」の技法は、リサイクルの考えから生まれた佐田岬半島の伝統文化です。実際に使用する織機を用いた裂織り体験を実施します。



三方を海に囲まれた佐田岬半島には、多くの海洋ごみが漂着しています。この問題に関心を持ってもらうため、伊方町地域おこし協力隊が「海洋プラスチックごみを活用したキーホルダー制作体験」を実施します。



<参考>

地方創生SDGsフェス専用ホームページ

(URL) <https://future-city.go.jp/sdgs/sdgs-fest.html>



【企画課 内線4847】